

学校法人昭和学院 平成 30 年度 事業報告書

令和元年 5 月 25 日

理事会・評議員会

1. 特記事項の概要

1940（昭和 15）年に創立された本学院は、本年 1 月をもって創立 79 周年を迎え、来年（令和 2 年 1 月）には創立 80 周年を迎える。

創立にあたり掲げた建学の精神「明敏謙譲」は、いつの時代にあっても不易のものである。

これまでに本学院を巣立っていった卒業生は、実社会で活躍している。

今後も、本学院の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、秀英中学校、秀英高等学校、短期大学がそれぞれの特色を発揮しながらも建学の精神に基づく人間性豊かな人材の育成を推進し、昭和学院としての調和のとれた総合学園としてさらなる飛躍を期していく。

以下に平成 30 年度に実施した特記すべき事業を記す。

<特記事項>

（1）昭和学院短期大学

① 教育の質と学生生活環境の向上

- ・教職再課程認定の申請が認可。（中学校家庭科、栄養教諭、幼稚園教諭）
- ・平成 30 年度私立大学等改革総合支援事業「教育の質的転換」で採択
- ・学内整備

コンピュータ室のパソコンとサーバーの更新

ピアノ演習室、図画工作室の整備

学生ホール：リラクゼーションスペース、PC カウンターの設置

② 学生募集の強化

- ・ホームページ、SNS、WEB 予約の活用
- ・平成 31 年度入学生 202 名達成

③ 就職支援とキャリア教育の推進

- ・資格教育の充実

生活クリエーション専攻：「医療事務」を開設、またブライダルコーディネーター検
定試験(国家資格)に合格者 4 名

ヘルスケア栄養学科：栄養士としての就職 90%

こども発達専攻：保育士の資格取得率 97%。保育士の資格取得者が増えたことによ
り千葉県から補助金を獲得

- ・公務員対策講座の充実

昨年度の合格率 60%から 90%にアップ

④ 収支バランスの改善

- ・2019 年度～2023 年度の昭和学院短期大学経営改善計画を策定
- ・こども発達専攻の定員増を段階的に行い、収入増を図る。

（3 月 27 日に文部科学省に現在の 60 名から 70 名に定員増を申請）

- ・学生数と教職員数のバランスを考慮し、教職員の定年と任期終了に合わせて専任の教員 1 名と助手 2 名を削減した。

⑤地域社会への貢献

- ・市川市と包括連携協定を締結
地域子育て支援センター事業の実施
市川市小学生朝食選手権を市川シビックロータリークラブと共催
シニアのための健康栄養講座の実施
いちかわ市民アカデミー講座、本学公開講座の実施
防災と街づくり
- ・大学コンソーシアム市川の設立
6つの事業中、本学教職員が3つの事業の委員長に就任

(2) 昭和学院高等学校・中学校

①教育の充実

- ・教員補充と資質の向上（研修会参加、教科研究会の充実、授業の相互参観）
- ・授業力の向上（毎学期、全教員の授業に対して校長視察実施）
- ・ICT 機器環境の整備
（高校生への iPad 導入 [学年進行 3 カ年計画]）

②学力向上と進路実績の向上

- ・探究学習の推進
（高校 1 年生に企業探究学習 Quest Education 導入）
- ・英語コミュニケーション能力の育成
（Online Speaking Training の継続）
- ・生徒の意識改革（トモノカイ：東大生等による学習援助）
- ・進路指導部を中心とした計画的な進路指導
（進路ガイダンスの充実、特進クラスの指導検討、志望校検討委員会の開催）
- ・上位層生徒の校長面談の実施
～高いレベルの文武両道～ 全国大会出場生徒の難関校合格

③施設の整備・充実

- ～築 10 年を経過した校舎、施設の点検・保守管理の遂行～
- ・南側独立柱の剥落タイル修復（H. 31. 4 完了）
- ・階段滑り止めの交換（未実施：保留）
- ・校庭人工芝のメンテナンス（未実施：保留）
- ・大町グラウンド男子トイレ新設（未実施：保留）

④校務の情報化推進

- ・教務システム（内田洋行スコーレ）のカスタマイズ継続
- ・身分証明書の IC カード化 * 今後、カード活用環境の整備が必要
- ・各家庭への情報配信システム（スタディサブリ連絡帳）導入

⑤生徒募集

- ・広報部による充実した募集活動の展開
- ・入試改革（能力を秘めた質の高い生徒の募集）

- 〈中学校〉 My Presentation in English 入試の導入
- 〈高等学校〉 特進（特待生）入試 英語 50 分間 [100 点] →75 分間 [150 点]
- ・ 2020 年度入試に向けて
 - 新コース編成検討 PT の立ち上げ [2020 年度 新コース編成実施]
 - 延納金値上げの検討（中高 20, 000 円→30, 000 円）
- ⑥臨時入学定員増の受け入れ。（平成 30 年度で終了。320 名→360 名 40 名増）
- ⑦新たな取り組み
 - ・ 創立 80 周年に向けた小学、秀英中高との教育連携
 - ・ Australia 交換留学制度の準備
 - ・ その他

（３）昭和学院秀英高等学校

- ①進学実績向上のための授業の充実と補習・講習の徹底
 - ・ 質の高い授業の実践
 - ・ 各教科研修の充実
 - ・ 補習、講習の徹底
- ②海外研修等の拡充
 - ・ 海外語学研修（継続）
 - ・ 高 1 オンライン英会話（2 年目）
 - ・ BOSTON・NASA 研修（2 年目）
 - ・ エンパワーメントプログラム（2 年目）
 - ・ 英国ケント大学プログラムの導入
- ③豊かな心の人間づくり
 - ・ LHR 活動の充実
 - ・ 規範意識の向上
- ④学習環境の整備と校内美化
 - ・ 塵ひとつない環境づくり
 - ・ 清掃の徹底
- ⑤ インターネット出願の充実（2 年目）
- ⑥臨時入学定員増の受け入れ（40 名増、240 名→280 名）
（平成 30 年度で終了）
- ⑦ADVANCE 勤怠システム導入
（服務管理システム・手のひら静脈認証による出退勤管理）

（４）昭和学院秀英中学校

- ① 学力の向上
 - ・ 質の高い授業の実践
 - ・ 英数国を中心とした基礎学力の徹底
 - ・ 各教科研究の充実
 - ・ 補習、講習の徹底
 - ・ 中 1 中 2 オンライン英会話（2 年目）

- ・中2ブリティッシュヒルズ研修の導入
- ・中1TOKYO GLOBAL GATEWAY 研修の導入
- ② 正しい生活態度の確立
 - ・道德教育の充実
 - ・ルール、マナー等規範意識の向上
- ③ 学習環境の整備と校内美化
 - ・塵ひとつない環境づくり
 - ・清掃の徹底
- ④ 午後特別入試（2年目）
- ⑤ インターネット出願の充実（2年目）
- ⑥ ADVANCE 勤怠システム導入
（服務管理システム・手のひら静脈認証による出退勤管理）

（５）昭和学院小学校

- ① 国際化の推進
 - ・英語教育の充実
 - ・英語見学会の受け入れ（グレープシード）
 - ・イングリッシュキャンプの実施
 - ・第6回オーストラリア語学研修の実施
 - ・英語スピーチコンテストの実施（第4回）
- ② プログラミング教育の推進
 - ・マインドストーム ev3、キューベットの導入
 - ・ICT の充実（サーフェス等の導入）
- ③ 指導力向上の研修
 - ・国語、算数、それぞれ3回ずつの校内研修会の実施
全教員が年1回、研究授業
研究テーマを策定（全教員のベクトルを揃える）
 - ・初任者研修会の実施
- ④ 児童募集活動
 - ・各幼児教室での講演会
（伸芽会、理英会、桐杏学園、めーでる、キッズカレッジ、チャイルドアイズ、その他）
 - ・模試会場での説明会
 - ・PR ビデオ作製 スマホ対応コンセプトムービー
 - ・ホームページ、学校案内のリニューアル
- ⑤ 施設設備の保守
 - ・防火シャッター点検（防災宿泊訓練で再点検）
- ⑥ 国際バカロレア認定に向けた調査研究
- ⑦ その他
 - ・アフタースクール・学童保育の充実
 - ・幼小の連携

(6) 昭和学院幼稚園

① 英語学習ほか教育活動の充実

- ・英語学習の充実
- ・プログラミング教育の導入と幼小連携
(3年生と年長児 キュベットを使って)
- ・幼小連携の充実 年長児と2年生、年中児と1年生
- ・教員の保育研修 新教育要領に準じた保育へ
- ・各種行事の充実 発表会、作品展の実施時期の改善

② 募集活動の充実

- ・ホームページ・入園案内のリニューアル
- ・説明会、見学会の改善

③ 預かり保育・課外教室の充実

- ・ダンス教室、サッカー教室、保護者対象ピラティス等
・・(短大体育館、中高テニスコートを利用)

④ 未就園クラスの拡大、充実

- ・ひよこ、どんぐりクラブ 週3日
- ・音楽・ダンス教室 週4日 (短大図書館1階 学童の部屋を利用)

⑤ 園舎、園庭の整備

- ・補助金を利用した施設・設備の充実 (ベランダの日よけ第2期)

⑥ その他

- ・安全管理、危機管理体制の見直し
個人情報管理、避難訓練、施設管理等、アレルギー対策等

2. 平成 30 年度生徒・学生等数の状況

(単位：人)

学校名	総定員	在学者数 (定員充足率)	入学定員	入学者数 (定員充足率)	H. 31 入学者数
昭和学院 短期大学	340	336 (98.8%)	170	168 (98.8%)	202 (118.8%)
昭和学院 高等学校	1,080	1,101 (101.9%)	360	319 (88.6%)	292 (91.5%) 入学定員 320
昭和学院 中学校	432	332 (76.9%)	144	109 (75.7%)	142 (98.6%)
昭和学院 秀英 高等学校	840	872 (103.8%)	280	290 (103.6%)	297 (123.8%) 入学定員 240
昭和学院 秀英 中学校	480	534 (111.3%)	160	179 (111.9%)	186 (116.3%)
昭和学院 小学校	480	489 (101.9%)	80	86 (107.5%)	84 (105.0%)
昭和学院 幼稚園	180	184 (102.0%)	60	66 (110.0%)	54 (90.0%)
合計	3,832	3,848 (100.4)	1,254	1,217 (97.0%)	1,257 (107.1%)

3. 校舎・備品等の整備事業

主な校舎等の改修及び備品の購入

学校名	事業名	事業内容
昭和学院 短期大学	教育用設備・備品の 整備	・パソコンとサーバーの更新 ・ピアノ演習室の整備 ・図画工作室の整備
	学生ホールの整備	リラクゼーションスペースとPCカウンターを設置した。
昭和学院 高等学校 中学校	教育用備品の整備	・高校1年生へのタブレット配布 ・英語 OnlineSpeaking 用 CALL 教室整備 ・教務システム” スコアレ運用開始 カスタマイズ継続 ・スマホケース作成。配布

	女子寮・教室・グラウンド整備	・大町グラウンド天井ネット補修 ・各種メンテナンス・故障修理（GHP 放送機器 冷水器 トイレ など） ・校舎清掃 樹木剪定 除草など
昭和学院秀英 高等学校 中学校	・学習環境整備 ・教育環境整備	・黒板交換工事 ・調理室調理台入替え ・調理室白板 ・LAN工事追加分 ・木製回転書架 ・ティンパニー ・プログラム送風定温恒常器 ・卓上小型電気炉 ・各種修理 ・事務室等PC追加・交換 ・紙折り機（原物寄附） ・各種修理
昭和学院 小学校	プログラミング教育推進 体育館ピアノ購入	タブレット、Surfacet 等 10,428,804 円 『私立大学等研究設備整備等補助金（IT 教育設備推進費） 4,642,000 円 グランドピアノ 1 台 2,023,920 円 バザー収益金より寄付 180 万円
昭和学院 幼稚園	園舎・備品などの整備事業	平成 30 年度「幼児教育の質の向上のための環境整備等事業」 事業費用 1,232,704 円 補助金額 245,000 円 大型積み木、ピアノ、AED 市川市振興費補助金（施設設備費）事業 事業費用 2,900,000 円 補助金額 1,440,000 円 2 階テラス日よけ設置工事

4. 寄附募集事業

私立学校を取り巻く環境が厳しさを増している中「新しい公共」によって支え合う社会の実現に向け、学校法人への寄附に対する税制が大幅に改善され、文部科学省からはこの制度を活用して寄附の募集活動を行い、学校の経営基盤の強化に努めるよう指導されている。

このことに従い、本学院では教育の振興と教育環境の充実を目的とした「昭和学院教育振興資金」の寄附募集活動を通年実施している。特に平成 30 年度は奨学会から多大なご協力を頂いた結果、昨年度に比べ 1,242 万円増えて 5,069 万円のご寄附を頂く事が出来た。また令和 2 年に本学院が創立 80 周年を迎えるにあたり、その記念事業等に向けた更なる寄附の募集活動を進めている。